



24時間、ごみを燃やすのはいいの？ 悪いの？

「燃やす量が少なくて、夜は燃やさなかったらいいかな」
あなたの家のとなりに焼却施設があったら…のインタビューでこんな風に答えてくれた方がいました。確かにそう思いますよね。でも、ちょっと違うのです。24時間動いている焼却施設のほうが、よりごみを完全燃焼でき、ダイオキシンの発生を抑えることができます。なんだか意外ですよね。それと、もう一つ。「自分の市のごみは、市内で処理を！」なんて、よく言いますが、みんながごみを減らして、いくつかの市がいっしょになって、ごみをまとめて24時間運転できる施設をつくるほうが、ダイオキシン減少につながるのです。

あなたがステーションにだしたごみ。収集車に積み込まれて…その後、どこに行くか知っていますか？ 収集車が行き着く先は、小平・村山・大和衛生組合。ここに、小平市、東大和市、武蔵村山市に住む約31万7千名分のごみが運ばれます。燃えるごみは、焼却施設で燃やされます。もちろん、燃やしたからといって、すべてなくなってしまうわけではなく、排気ガスと灰になります。排気ガスは、有害ガスを取り除いて、煙突から排出。灰は、大型ダンプで運ばれ、日の出町の最終処分場で埋立てられます。

燃えないごみと粗大ごみは、大きな破砕機にかけて、細かく砕き、燃えるものは焼却施設で燃やし、鉄やアルミは取り除かれて資源化されます。そして、残った燃えないごみは、灰と同じように日の出町の最終処分場に埋立てられるのです。

ところで、
あなたのごみは、
どこに行くの？



ごみいった話 小村大の困った。困った。

衛生組合には、焼却施設と破砕処理施設があります。火災発生といったら、焼却施設だと思うでしょう？ ところが、火災が発生したのは破砕処理施設。粗大ごみや燃えないごみを細かく砕く施設です。不燃物を砕くだけで、なぜ火災がおきるのでしょうか。原因は、石油ストーブやスプレー缶やカセットコンロ、ごみとして出していないプロパンボンベ。これらを細かく砕く時に、石油ストーブに残っていた灯油やスプレー缶に残っていたガスに火花が飛び、火災が発生したのです。また、同じことが原因でごみ収集車から火がでたこともあります。大事故にはなりませんが、作業をする人にとっては大変危険なこと。こんなことが起きないためにも、スプレー缶には、使いきった後に穴をあける、ストーブなどを捨てる時は、灯油を使いきって電池を抜き取るなど、ごみをだす時の注意が必要です。そう、あなたは、知らないところで、事故の犯人になっているかもしれません…。



火災発生！

VOICE

編集後記

突然の街でのインタビューにお答えいただいたみなさん、ご協力ありがとうございました。おかげ様で、無事「えんとつ」の創刊号を発行することができました。また、街でみなさんに「えんとつ」と突然声をかけることもあるかと思いますが、その際は、どうぞ優しくお願いします。さて、表紙の写真を撮った日は、吐く息が真っ白になるような寒い日でした。そう、えんとつの煙も白くよくみえます。ごみを燃やしてあたたまった水蒸気が、外の冷たい空気と混ざる時に、白くなるのです。寒い冬の日や湿度の高い日は、水蒸気がよく見えるはず。ちなみに、写真には、東大和市駅近くのビルの屋上から撮ったものです。

「えんとつ」は「ごみ問題を一人一人が身近な問題としてとらえ、協力しながら問題を解決していくこと」を目指して、創刊致しました。今後は、年に2回発行していく予定です。次号もお楽しみに！

小平・村山・大和衛生組合の沿革
衛生組合は、小平市・東大和市・武蔵村山市のごみを共同処理するため、一部事務組合として昭和40年に発足し、昭和41年から焼却施設を稼働。現在に至っています。

発行元

小平・村山・大和衛生組合

住所／小平市中島町2番1号

電話／0423-4114345

平成10年2月発行

小平・村山・大和衛生組合

えんとつ

1998 創刊号

あなたの街の焼却施設

「えんとつ」といったら、どんなものを思い浮かべますか？
サンタクロースが入るえんとつ、饅頭のえんとつ、工場のえんとつ、SLのえんとつ…
そして、私達の生活に一番関係しているのが焼却施設のえんとつです。
あなたの家から見えますか？

